

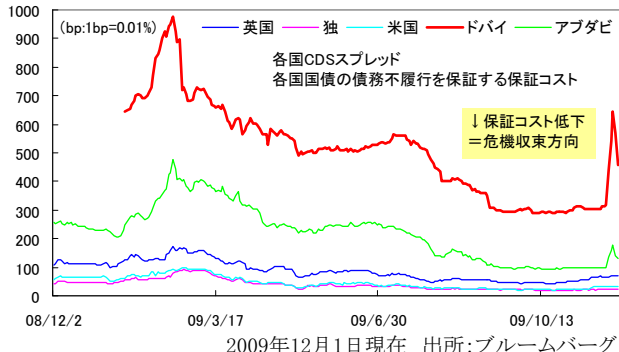
ドバイ問題は西欧に伝播するか？

- ✓ ドバイ問題はアラブ首長国連邦の支援が期待されること等を背景にアラブ首長国連邦(UAE)の国内問題として解決可能と見られる。
- ✓ 懸念された西欧への危機伝播の可能性は後退。

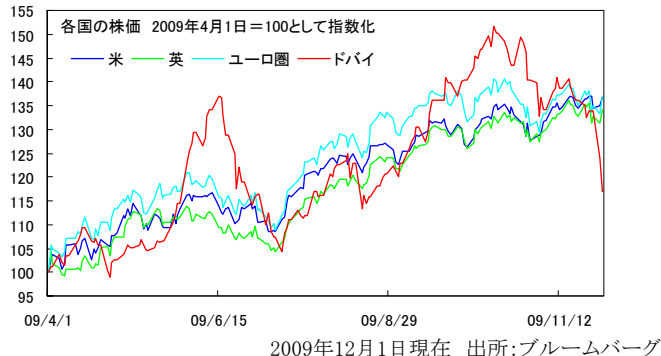
アラブ首長国連邦・ドバイ首長国の政府系企業であるドバイ・ワールドの債務繰り延べ報道を受けた信用不安から、欧米の金融機関が被害を被り、ドバイ発の金融危機に発展する懸念が広がったため、一時、世界の金融市場は動揺しました。しかし、債務繰り延べが求められている額が約260億ドル(約2兆2500億円)の債務で、これは債務総額の約4割に留まり、残りの債務約6割は安定した財務基盤の裏付けがあると判明したことから、相場は落ち着きを取り戻したようです。実際、ドバイ国債の債務不履行が起きた場合の債権を保証するコストであるCDSスプレッドは急速に低下し、また、ドバイ問題が世界に伝播せず、ドバイの国内問題として対処可能との見方が広がる中で、欧米の株価は堅調推移に転じました(図表①②参照)。ドバイはアラブ首長国連邦(UAE)を構成する7つの首長国のうちの一つですが、債務問題の成り行きを占う上で注目されたのは、UAE内で最大の経済規模を誇り、2008年1月現在で8750億ドルという世界最大の資産総額を持つ政府系ファンド(※)を有するアラブ首長国がこの問題の支援をするかどうかでしたが、12月1日のUAE大統領の声明によると、「ドバイ首長国とアラブ首長国がドバイ問題に協力して対応することで合意した。」としており、市場の不透明感払拭に貢献した模様です。

(※)政府が出資する投資ファンド。アラブ投資庁は世界最大の投資ファンド。アラブ政府の歳入のうち余剰の運用を世界の金融市場で行っている。

【図表①】

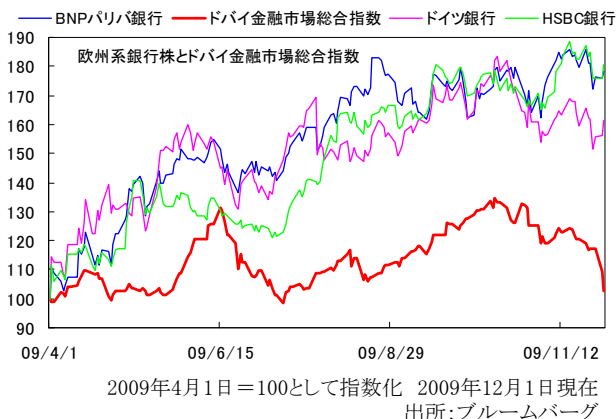


【図表②】



ドバイ・ワールドの債務再編の可能性が台頭する中、対ドバイへの与信額(リスク・エクスポージャー)が大きいとされる西欧の銀行への損害を懸念する見方があります。世界銀行(BIS)統計によると、その額は英国が約500億ドル、フランスとドイツ合計で約220億ドル、米国が106億ドルとなっていますが、それぞれ銀行の破綻リスクにつながるような金額ではないと見る向きが多い模様です。このことを西欧の各銀行株は反映しているようで、ドバイ金融市場総合指数が下落する中、反発しています(図表③参照)。

【図表③】



ご留意いただきたい事項

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。
- 当資料に記載されている内容は発行日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。
- 当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

